

# 平成30年度 学校経営方針

弘前市立高杉小学校

## 1 教育目標

かしこく 心豊かに たくましく

- ◇ 自らねばり強く学ぶ子
- ◇ 思いやりのある子
- ◇ 明るく元気な子

## 2 努力目標

- 進んで学習に取り組み、考えや思いをわかるように伝える子
- 周りのことをよく考え、思いやりの心をもって行動する子
- 丈夫で健康な体をつくり、安全に気をつけて生活する子

## 3 経営方針

弘前市に生まれ育ったことを誇りに思い、夢と自信をもって自らの可能性に挑戦し続ける心豊かでたくましい子どもの育成に向けて、教職員・保護者・地域・関係機関等が心を通わせ合い、共に行動する、創意と活力に溢れる学校を目指す。

- ①子ども一人一人の「よさ」や「可能性」を引き出し、子どもと教師がより高いめあてに向かって共に学び育つ学校経営に努める。
- ②教職員一人一人の学校運営参画意識を高め、意欲やアイデアを最大限に発揮できる、ゆとりのある組織運営に努める。
- ③全教職員の和と協力のもと、家庭・地域・関係機関等との連携を図りながら、地域に根ざした特色ある学校づくりに努める。

## 4 めざす学校像

- 子どもにとって、安心感と楽しい学びのある学校（今日も楽しかった！）
- 保護者にとって、信頼感と感動・共感のある学校（この学校に行かせてよかった！）
- 地域にとって、応援したいと思える学校（子どもの成長の手助けをしたい！）
- 教職員にとって、創造力と意欲がわく学校（この学校に勤めてよかった！）

## 5 めざす子ども像

- 「た」 ○高い目標に向かって挑戦し続ける子（志、挑戦、根気）
- 「か」 ○感謝の気持ちや感動をしっかり表す子（言葉、態度）
- 「す」 ○進んできまりを守り、礼儀正しく行動する子（ルール、マナー）
- 「ぎ（き）」 ○絆を深め、団結しあう子（認め合い、助け合い、寛容）

## 6 めざす教師像

- 教育目標に向かって子どもが変容することに情熱をもって努力する教師
- 教育専門家として研修意欲を持続し、自己変革に努力する教師
- 1時間の授業を大切にし、わかる・のばす授業づくりに努める教師
- 子どもへの賞賛と励ましを忘れず、ともに遊び、働き、じっくり向き合う教師
- 人間性豊かで、子どもや同僚、保護者、地域に信頼される教師

## 7 経営の重点

### （1）学級経営の充実

- ①子ども一人一人のよさの発見と多面的な児童理解
- ②教師と子ども、子ども同士の信頼関係づくり（所属感や安心感の持てる学級）
- ③学級全体が一つの目標に向かい団結する雰囲気づくり
- ④「あいさつ」「歌声」を根幹とした潤いのある環境づくり

### （2）わかる・のばす授業の充実

- ①基礎的・基本的な内容の確実な定着と学習意欲の向上
  - ・授業のユニバーサルデザイン化（「分かりやすい・学びやすい授業」の実践）
  - ・問題解決的な学習の充実
    - ※「深く聴き合う」ことを土台にした「話し合い」場面の充実
    - ※学習の「まとめ」や思考プロセスを確かめる「振り返り」場面の充実
  - ・繰り返し指導（「ドリルタイム」）の充実、個に応じた指導の充実
  - ・「学習のきまり」による学習規律の定着
  - ・学力検査（国、県、NRT、CRT）結果の課題共有と対策
- ②校内研修の充実と授業改善
  - ・タブレット端末と新たなクラウド型コンテンツの活用研究
  - ・学習意欲を高め対話力を伸ばすICT機器を活用した授業づくり
  - ・生徒指導の三機能を生かした授業づくり
- ③学習習慣の定着（「家庭学習のすすめ」の活用）

### （3）豊かな人間性の育成

- ①実践につながる道德教育の充実
  - ・道德科の授業の充実（「考え方や感じ方」を吟味・軌道修正する話し合い活動）
  - ・道德的実践の指導の充実（日常の生活場面でのタイムリーで具体的な指導）
  - ・人間的な触れ合いを大切にした活動の充実（縦割り班活動、昔遊び交流会など）

## ②生徒指導の充実

- ・協同指導体制の充実（「いつでも」「どこでも」「だれでも」～『生活のきまり』）
- ・「居場所」と「出番」の場の保障（一人一役の位置付け）
- ・いじめや問題行動の早期発見と組織的対応  
（定期的な教育相談、いじめアンケート・アセスの活用、笑顔づくり委員会）

## ③読書習慣の充実

- ・朝読書タイムの充実（「みんなで」「毎日」「好きな本で」「ただ読むだけ」）
- ・読書環境づくりの推進（ボランティア等の活用、読書週間）

## ④体験活動の充実

- ・地域の自然や人材の活用（りんご栽培、枝豆栽培、お話を聴く会）
- ・ボランティア活動の推進（JUMP チーム、プルタブ・エコキャップ回収）
- ・キャリア教育との関連（キャリアノートの活用、校外学習の活用）

## （４）体力の向上と健康安全指導の充実

- ①家庭との連携による基本的な生活習慣の形成（生活実態アンケート、情報交換会）
- ②めあてと継続的な体力づくり（教科体育の充実、マラソン・なわとびの実施）
- ③生命の大切さを考える食の指導、性教育（外部講師・参観日での授業公開）
- ④家庭・地域との連携による交通安全・防犯指導、災害安全・防災教育  
（登校指導、交通安全教室、学校安全委員会、避難訓練）

## （５）特別支援教育の充実

- ①校内委員会を核とした校内支援体制の充実（特別支援教育委員会）
- ②個別指導の充実と交流学习・共同学習の推進（ユニバーサルデザイン型授業）
- ③関係機関・専門機関との連携

## （６）開かれた学校づくりの推進

- ①公開・発信する学校（公開授業、学校だより等各種通信）
- ②PTA活動や地域行事への積極的参加と連携
  - ・資源回収（PTA事業委員会）
  - ・地域コミュニティ関連（公民館まつり、交通安全パレード 他）
- ③自己評価の公表と学校関係者評価の活用
- ④学校運営協議会による地域と一体となった学校づくり

## （７）保・小・中連携の推進

- ①北辰学区小中一貫教育における具体的施策の連携強化
- ②小中・小小合同授業等による学区リレーションシップの推進
- ③高杉地区保育園との連携（情報交換、行事交流、スタートカリキュラム）

## 8 仕事を進めるうえで留意したいこと

### (1) 「報告・連絡・相談」は確実・迅速に

- 生徒指導関係（問題行動、いじめ、校内外での事故など）
- 施設、設備の危険箇所（校内巡視による把握、対応の協議など）
- 校内文書、発送文書（提出期限の厳守、内容確認）

### (2) 職業人としての礼節を

- 業者や来客の前、子どもがいる時
- 挨拶、電話対応、適切な言葉遣い、明るい態度
  - ※保護者に対し、節度をもって接する。（馴れ馴れしい言動に注意！）
- 時間管理（朝活動の指導、1単位時間＜45分＞の確保、清掃指導など）

### (3) 机上整理や教室・教材室の整頓、整った教育環境を

- 退勤時、教室の整理整頓と職員室の机上整理
- 生き物の管理や掲示物への気配りを

### (4) 環境への配慮を

- 無駄遣いしないように心がける（児童への啓発も）
  - ・紙（裏面使用、リサイクル）
  - ・電気（教室を空ける時は消す習慣を）、水、暖房器具

### (5) 個人情報保護に注意を

- コンピュータ関係
- 休み時間の話題、外出先での話題、机上の文書
- 職員、児童、保護者等の情報（住所、電話番号、他人のプライベートな話題など）
  - ※「誰がどこで聴いているかわからない」という危機感をもつ（特に校外）

### (6) 服務規律の確保と健康管理の徹底

- 交通事故・違反、情報漏洩、体罰の防止
  - ・暴言や心ない言葉にも注意（教育者としての立場を常に意識する）
  - ・何かあった場合、管理職にすぐ報告を！
- 公金の適切な管理、諸帳簿の確認など慎重に
- 職員本人、家族の健康管理 → 我慢せず早めの対応を

### (7) その他

- 「子は親の鏡」といわれるが、「児童は教師の鏡」でもある。教師の考え方や行動が学級の子どもたちにも影響を与える。例えば、教師がユーモア好きなら、ユーモアに満ち溢れた学級ができる。「子どもを変えるには、教師が変わるほかない！」ことを念頭に。
- 諸計画は、何か一つでも新たな発想や試みを取り入れ、前年度より進化を。
- 教職員自ら好きなものを語ったり、得意なことをやってみせたりすることも大事。
- ※何事も一年勝負。子どもたちが成長した一年後の姿を絶えず思い描きながら仕事にあたりましょう。